

2023年(令和5年)3月オホーツク管内倒産集計

2023年4月3日

株式会社 東亜リサーチ

北見市北6条西5丁目1番地

Tel (0157) 23 - 6288

Fax (0157) 24 - 1033

2か月連続の発生 発生は2か月連続で前年同月上回る

発生件数2件、負債総額8,000万円

■前月比	件数	1件増加(令和5年 2月	1件)
	負債総額	1,000万円増加("	7,000万円)
<hr/>			
■前年同月比	件数	2件増加(令和4年 2月	0件)
	負債総額	8,000万円増加("	0円)

2023年3月の発生状況

2023年3月のオホーツク管内における倒産整理企業(負債総額1,000万円以上・内整理を含む)は、発生が2件、負債総額は8,000万円だった。これは前月比で件数が1件、負債総額で1,000万円の増加。発生がなかった前年同月と比べると皆増となった。

当月の2件は北見市の小売店(衣料品、時計・貴金属)2社。販売不振が主要因で、釧路地裁北見支部から破産手続開始決定を受けたもの。2か月連続の発生で、複数発生は前年の10月以来。これで発生は2か月連続で前年同月上回った。

過去5年間の3月の発生状況を見てみると18年5件、19年ゼロ件、20年1件、21年1件、22年ゼロ件の推移であり、平均発生件数は1.4件、同負債総額は1億3,960万円。今年は件数で平均を若干上回ったものの、負債総額は平均値を下回る。

2023年1～3月の発生累計

今年1～3月の累計発生件数は3件、負債総額は1億5,000万円。前年同期間と比べると皆増となった。

過去5年間の発生推移は【右・表】の通りで、平均発生件数は2.8件、同負債総額は3億3,340万円。今年は件数でやや平均値を上回り、18年、20年に次いで3番目の件数。負債総額は小規模な倒産が中心であるため、平均値を大きく下回り、22年、19年に次いで3番目に少ないの数値となっている。

過去5年間と今年1～3月の件数・負債額

年 別	件 数	負 債 額
2018年	5件	5億6,600万円
2019年	2件	1億4,100万円
2020年	4件	7億9,800万円
2021年	3件	1億6,200万円
2022年	0件	0円
2023年	3件	1億5,000万円

今後の見通しと問題点

今年発生した3件を見ると総て小売業者。大手業者やネット通販業者との価格競争が激しいなか、生活必需品以外の小売店はコロナ禍による外出自粛の営業を受け業績が低迷した業者は少なくない。回復が遅れて資金調達が限界に達し、事業継続を断念したものであり、こうした倒産は今後も続くことが予想される。

新型コロナウイルスが感染症法上5類相当に移行するため、需要が減退していたサービス、宿泊、飲食業などの活発化が予想されるものの、燃料や原材料価格の上昇や人手不足の影響が顕在化しており、企業への影響は計り知れない。

倒産件数が2か月連続で前年同月を上回るなど管内倒産は増加の兆しが見られる。これからゼロゼロ融資の返済が本格化するが、業績が回復せず疲弊した企業を中心に事業継続が困難となる企業が増加する懸念が一層高まっており、今後の動向が注目される。

